

地元島根を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日、このように、国会内の領土議連の山谷会長をはじめ多くの国会議員の皆様、そして各種団体の関係の方々にご出席をいただき、初めてこの東京でこうした集会在盛大に開かれますことを、地元として心より感謝申し上げる次第でございます。

また、山口外務副大臣及び長島総理補佐官には、政府として初めてこうした集会在ご出席をいただき、心より感謝申し上げます。

先ほど来、政府及び各政党の代表の皆様からは心強いお言葉をいただき、誠にありがとうございます。

7年前に島根県の条例で竹島の日を定めましてから、島根県をはじめ関係の皆様と竹島の領土権確立に向けまして活動してまいりました。教科書における記述、教育現場での教え方、いろいろな進展もございました。

しかし、先程来、ご紹介をいただいておりますが、韓国による竹島の実効支配の動きは容認できないものがあるわけでございます。

私どもは県民を中心としまして活動をしてまいりましたが、この活動の広がり日本全体に行き届かないことに、本当に歯がゆい思いでございました。

しかし本日、国会内の各政党の方々全員、そしてまた政府からの代表のご出席をいただきまして、こうした集会在できましたことは、今後の活動に向けての大きな弾みになるものと期待をいたしております。

島根県民の活動から日本全体の活動に飛躍をする、新しいフェーズに入ったと思うところでございます。

政府に対しましては、先程来、既にいろいろな要請が行われております。時間もございませんから、私からは3点だけ申し上げます。

1つ目は、やはり政府内に、竹島を含めた領土対策の本部を設けて、しっかりと対応をしていただきたいということでございます。

次に、この竹島に限らず、各国境に接する離島において、日本の国土を守るために日夜いろいろな努力がなされております。そしてまたいろいろな負担を強いられているわけでございます。政府として、国境離島の役割をしっかりと大事にしてもらいたい。これが2点目でございます。

そして、やはり韓国との話し合いをしなければ、ならないわけでございます。そのためには広く国民の方々の理解と関心、そして支持をいただかなければなりません。

そういう意味におきまして、第3点目として、政府におかれまして、国民の皆様への説明、啓発、この活動をしっかりとやっていただきたい。

以上、この3点をよろしく願い申し上げます。

今後とも島根県としましては、皆様とともに竹島の領土権確立に向けまして全力を挙げてまいりますので、よろしくご支援のほどお願いを申し上げまして、地元からのごあいさつとさせていただきます。